

白杵市 施策評価シート  
(令和4年度)

評価 担当者	課名 建設課	氏名 高野 裕之	内線 2600
-----------	-----------	-------------	------------

コード	Ⅲ-8-14	施策名	防災・減災のための環境整備
施策の方針	災害に強いまちをつくる		
まちづくりの方針	自助・共助の精神を持った市民が暮らす、災害に強いまち(防災)		
5年後のめざす姿	自然災害から命を守るため、避難路の整備や危険箇所への対策、公共施設の維持・整備などを図り、防災・減災に取り組みます。災害発生時には、市民が安心して避難や生活ができるようライフラインをはじめとする災害に強い施設の整備を目指します。		
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>危険箇所や河川警戒区域、ため池氾濫区域など住民の適切な避難行動及び軽減に繋げるため、各種ハザードマップの整備を行います。</li> <li>防災・減災対策としての道路・港湾・河川・ため池・上下水道施設などの環境整備を行います。</li> <li>災害時に安全にそして早く避難するために避難路の環境整備を行います。</li> </ul>		

<指標>

新規 指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	避難路の整備箇所【累計】	自主防災組織による整備箇所数	目標	箇所	36	37	38	41	42	
			実績	箇所	35	36	37	40		
			達成率	%	100.0%	100.0%	105.3%			
	急傾斜地崩壊対策事業の整備箇所数【累計】	年次計画による整備箇所数	目標	箇所	18	20	25	32	34	
			実績	箇所	16	21	23	26		
			達成率	%	116.7%	115.0%	104.0%			
	ハザードマップを作成した「ため池」箇所数【累計】	ハザードマップを作成した「ため池」の箇所数	目標	箇所	32	32	32	32	32	32
			実績	箇所	19	32	32	32		
			達成率	%	100.0%	100.0%	100.0%			
	防火水槽の耐震化数【累計】	年次計画による整備箇所数	目標	箇所	44	46	48	50	52	
			実績	箇所	42	44	46	48		
			達成率	%	100.0%	100.0%	100.0%			
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						

指標の分析	避難路整備については、地域の自主的な活動により、地区による避難路整備が新たに3か所整備完了しました。急傾斜地崩壊対策事業においても年間施工量を2箇所に進めています。ため池のハザードマップ作成については、目標値を達成できました。
-------	---

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度
市民意識調査結果 (R4調査)	向上領域	2.68	2.07
市民意識調査結果分析	「必要度」「満足度」ともに高くなっています。避難訓練を通じて意識の向上・醸成ができつつある結果と考えられます。		

<次年度以降の課題>

令和5年度以降の課題	避難路整備については、高齢化が進み地域での整備が困難となっており、広域での整備などに取り組む必要があります。急傾斜地崩壊対策事業において、現地の測量設計を前倒しで行う必要があり今年度より調整に入っています。ため池ハザードマップは、作成して終わりではなく、行政と地域住民が意見交換し、情報の共有や共通認識の醸成を図っていく必要があります。
------------	--

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				R3年度実績	R4年度実績	令和5年度年度見込み			
1	避難路の整備事業	防災危機管理課	○	326	1,971	3,000	継続		Ⅲ-7-13
2	急傾斜地崩壊対策事業	建設課	○	2,218	23,427	89,000	継続		
3	農村地域防災減災事業	農林振興課		-	-	-	完了		Ⅲ-7-13
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計				2,544	25,398	92,000			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	災害時は早く、安全に避難する事が大切であり、そのため避難路の整備が重要であり制度の周知を図っていく必要があります。	課長評価
概ね順調	急傾斜地崩壊対策事業は人家1戸からの急傾斜地の土砂災害未然防止事業として、継続する必要があります。ため池ハザードマップの作成は、現時点で防災重点ため池は完了していますが、今後もハザードマップの作成が必要となった場合は、国の補助金制度の活用によりワークショップ等による地区住民の啓発を行っていく必要があります。	目標を達するため、現状維持とする

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

※以降の評価は、令和3年度～令和5年度の3カ年に分けて実施予定。

実施年度		内部評価
令和3年度実施済		-

<白杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

外部評価	評価のコメント
-	

<白杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

--